

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (1/2)

1、今後の日本の原子力政策について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに全ての原発を廃炉にする。
- ・安全の確認された原発のみ稼働させ、10～20年以内に原発ゼロを目指す。
- ・原発の依存度は下げるが、将来的な原発ゼロには反対。
- ・原発の推進をはかる。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

福島事故はいまだ収束していない。ひとたび放射性物質が大量に放出すると、未曾有の被害となり、人類はコントロール術をもっていない。原発を稼働する限り「核のゴミ」は増え続ける。電力は代替エネルギーで十分足りる。原子力ムラの利権以外に存続させる理由が見当たらない。

2、北海道電力 泊原子力発電所について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに廃炉にする。
- ・道内の電力使用状況に合わせ、安全確認を行いながら再稼働させる。
(年以内に廃炉 / 特定の廃炉期日は設けない) ※いずれかを○でお選びください。
- ・道内の冬の安定した電力供給のため、今すぐ再稼働すべき。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

事故が起きれば北海道の漁業・農業が破壊される。泊原発周辺には60kmの活断層が走り、巨大地震と津波の危険がある。30キロ圏の避難訓練は、対象7万人の2%にすぎず、避難・防災対策も全くできていない。防災が無理なら廃炉にするのは当然。

3、電源開発による青森県 大間原発の建設再開について、ご自身の考えに最も近いものをお選びください。

- 直ちに建設を断念すべき。
- ・道南各自治体および北海道への説明をしっかりと行い、慎重に建設の是非を議論すべき。
- ・建設再開を支持する。
- ・どれもでない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

稼働すると2050年代まで操業し、政府方針とも矛盾する。危険な初のフルMOX燃焼である。活断層の調査もしていない。北海道地域が30km圏内にありながら、住民説明会もない。事故が起きれば北海道の漁業・農業が破壊される。

返送先：北海道反原発連合 FAX 011(351)2378

第46回衆議院総選挙 立候補予定者の皆様へ (2/2)

4、幌延町の深地層研究センターについて。高レベル放射性廃棄物の最終処分場の有力候補とされていますが、幌延には稚内から続く活断層もありその危険性が指摘されています。この件についてご自身の考えに最も近いものをお選びください。

断固として認められない。

- ・ 慎重に安全性の確認を行い、道や自治体と議論の上、受け入れの是非を決めるべき。
- ・ 幌延町の経済発展にも繋がるので、安全性の確認の上で受け入れるべき。
- ・ どれでもない。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

おぎう和敏候補は、1998年の幌延町長選挙に出馬して「幌延に核のゴミを持ち込ませてはならない」と訴えた者として、断じて認められない。文献調査も認められない。センターの最深部の現場を視察したが、いまま地下水の噴出に大変苦しんでいる。

5 (1)、道庁前反原発抗議行動について。私たち北海道反原発連合では、毎週金曜夜に道庁北門前にて反原発抗議行動を行っております。約20回続いていますが、この抗議行動をご存知ですか？また、私たちの行動は原発問題にフォーカスしていますが、市民一人一人が日本の社会の問題に意思表示をすべく行動していることについて、ご意見等ございましたら備考欄にご記入願います。

知っている。

- ・ 知らなかった。

(備考欄 ※書かれた内容をそのまま公開させていただきます)

市民一人ひとりが社会問題について意思表示をすることは、大切な民主主義の発露。原発問題は人類共通の問題であり、思想信条を超えて市民意思を結集することが大事だと思う。

5 (2)、私たちの道庁前抗議行動に参加したいと思いませんか？

参加したことがある (官邸前 / 道庁前 / その他地域にて)

- ・ 機会があれば参加したい
- ・ 考えていない
- ・ 参加したくない。

お疲れさまでした。ご協力に感謝します。